

**「物価と消費に関するアンケート」結果**  
**暮らし向きは3年ぶりに悪化、世帯収入は小幅改善**  
**物価は連続上昇、今後も高い水準が続く見通し**

円安による輸入価格の上昇や燃料・光熱費の上昇、消費税増税も相まって物価は大幅に上昇している。このような状況が、家計や個人消費の動向にどのような影響を及ぼしているのかを調査するため、県内の滋賀銀行店頭にご来店の女性を対象に「2014年夏季、物価と消費に関するアンケート」調査を行い、結果についてまとめた。

なお今回、特別項目として「消費税増税後の消費動向」の調査も行った。

**【調査の概要】**

- ・調査名：「2014年夏季、物価と消費に関するアンケート」
- ・調査時期：2014年6月11日(水)～13日(金)の3日間
- ・調査対象：滋賀銀行の本支店にご来店の女性(県内在住者のみ)
- ・有効回答数：644人 (うち29歳以下：115人、30歳代：137人、40歳代：161人、50歳代：139人、60歳以上：92人)

**【調査結果の要旨】**

**1. 定例項目**

- ◆ **【暮らし向きDI】…3年ぶりに悪化**
  - ・現在の「暮らし向きDI」は-14.3で、前回(-6.6)から7.7ポイント低下し3年ぶりに悪化した。
  - ・半年後は-20.8で、現状から-6.5ポイントとさらに悪化する見通し。
- ◆ **【世帯収入DI】…緩やかに改善、半年後は悪化の見通し**
  - ・現在の「世帯収入DI」は-7.8で、前回(-13.9)と比べて上昇。依然としてマイナス圏ながら緩やかな改善となった。
  - ・半年後は-13.9で、現状から6.1ポイント低下する見通し。
- ◆ **【物価DI】…大幅上昇、今後も高い水準が続く見通し**
  - ・現在の「物価DI」は+85.6で、消費税増税もあり、前回(+74.4)から+11.2ポイントと大幅に上昇。
  - ・半年後は+75.1と10.5ポイント低下するものの、高い水準が続く見通し。
- ◆ **【耐久消費財の購入】…依然、厳しい状態が続く**
  - ・「良くなる」と「やや良くなる」の合計が7.7%と、前回(11.5%)から3.8ポイント低下。「悪くなる」と「やや悪くなる」の合計は35.7%で、前回(49.3%)から13.6ポイント低下した。
  - ・「悪くなる」、「やや悪くなる」は低下したものの、「変わらない」は前回39.1%から17.5ポイント上昇しており依然、厳しい状態が続く。

**2. 特別項目 ～消費税率引き上げ後の消費動向について～**

- ◆ **大半の家庭で買い控え、節約を実施**
  - ・購入を控えるもの、節約している項目は「外食費など飲食費」(49.1%)が最も多く、「衣料費」(44.4%)、「身のまわりの日用雑貨」(34.8%)が続いた。
  - ・「特になし」とする回答は15.8%と、大半の家庭で何らかの買い控え、節約を行っていることがみてとれる。
- ◆ **買い控えの解消は7月以降**
  - ・全商品で「当面しない」の割合が最も高いものの、「旅行・レジャー」を中心に7月以降徐々に解消に向かう見込み。

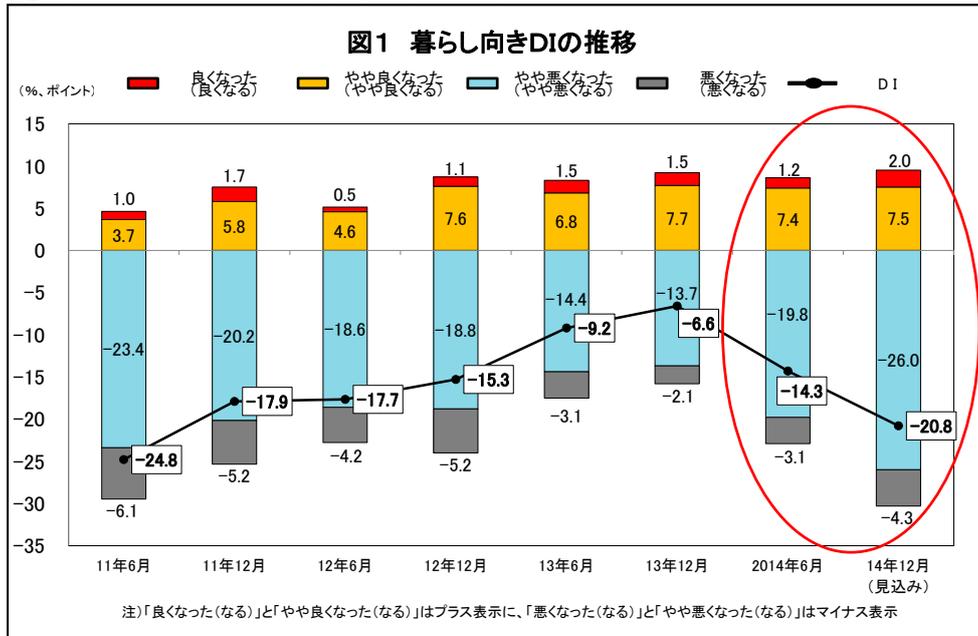
本調査結果に関するお問い合わせ先：(株)しがぎん経済文化センター  
 経済リサーチ部 吉川、檜原 (077-526-0005)

## 1. 定例項目

### ◆【暮らし向きDI】…3年ぶりに悪化

現在の「暮らし向きDI」(「良くなった」「やや良くなった」と回答した割合から「悪くなった」「やや悪くなった」と回答した割合を引いた値)は-14.3となり、前回(13年12月:-6.6)から7.7ポイント低下し、11年6月から3年ぶりに悪化した。消費税増税などによる物価の上昇を受けて、暮らし向きは悪化したと回答する割合が増えたようだ。

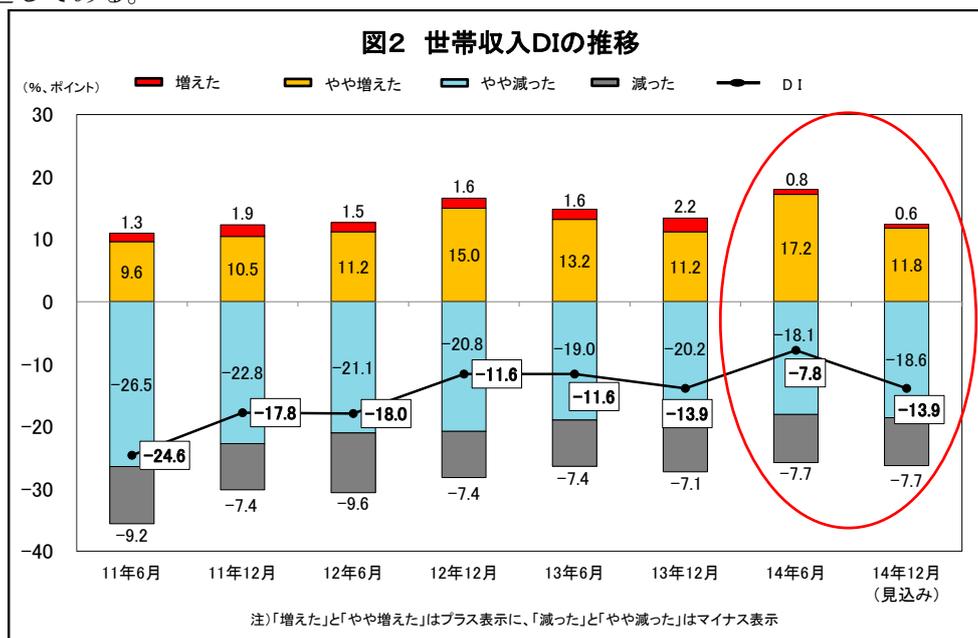
半年後については、「やや悪くなる」「悪くなる」と回答した割合がさらに増え、「暮らし向きDI」(同上)は-20.8と、現状(-14.3)から6.5ポイント低下する見通しである。



### ◆【世帯収入DI】…緩やかに改善、半年後は悪化の見通し

現在の「世帯収入DI」(「増えた」「やや増えた」と回答した割合から「減った」「やや減った」と回答した割合を引いた値)は-7.8で、前回(13年12月:-13.9)から6.1ポイント上昇した。依然としてマイナス圏内ながらも緩やかな改善となった。

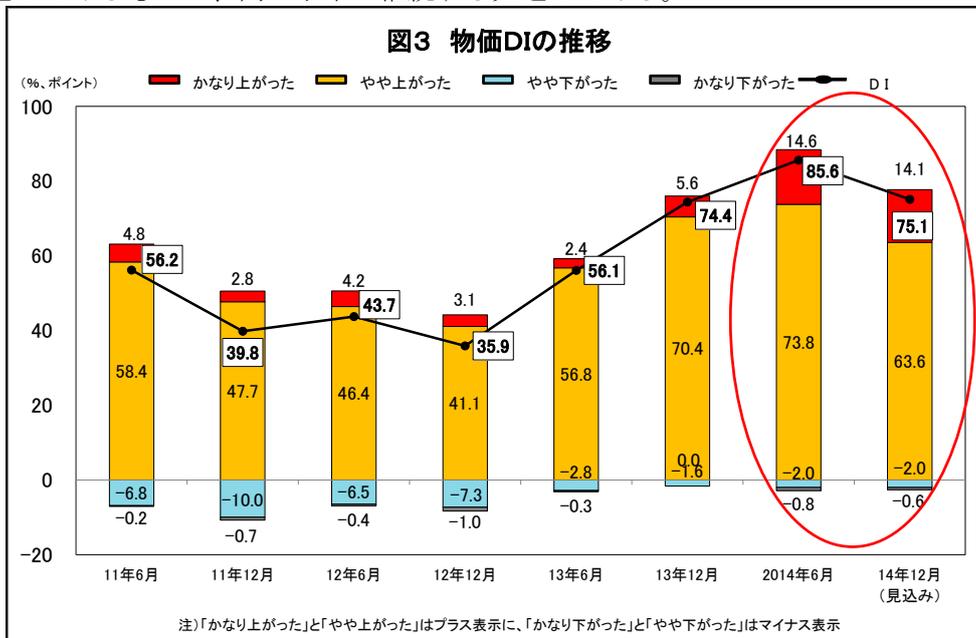
半年後の「世帯収入DI」(同上)は-13.9で、現状(-7.8)から6.1ポイント低下する見通しである。



◆【物価DI】…物価は大幅上昇、今後も高い水準が続く見通し

現在の「物価DI」(「かなり上がった」「やや上がった」と回答した割合から「かなり下がった」「やや下がった」と回答した割合を引いた値)は+85.6となり、前回(13年12月: +74.4)から+11.2ポイントと大幅に上昇した。円安による輸入価格の上昇や燃料・光熱費の上昇、消費税増税も相まって物価は大幅に上昇している。

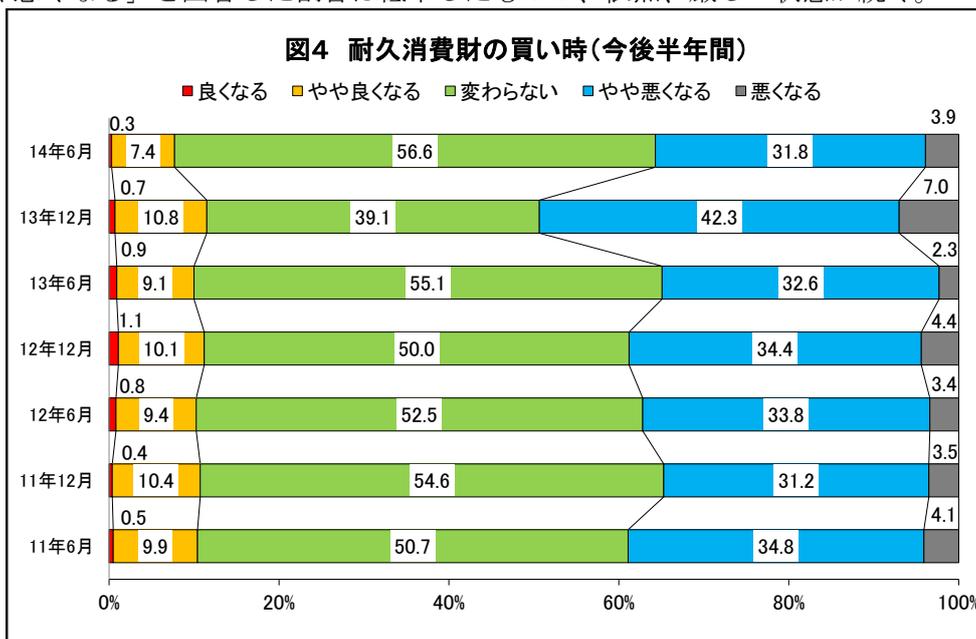
半年後の「物価DI」(同上)は+75.1で、現状(+85.6)から10.5ポイントと低下する見通しであるものの、高い水準が継続する見通しである。



◆【耐久消費財の購入】…依然、厳しい状態が続く

「耐久消費財の買い時として、今と比べて今後半年間でどうなると思うか」については、「良くなる」と「やや良くなる」の合計が7.7%と、前回(13年12月: 11.5%)から3.8ポイント低下した。また「悪くなる」と「やや悪くなる」の合計は35.7%で、前回(49.3%)から13.6ポイント低下した。

一方、「変わらない」は56.6%で、前回(39.1%)から17.5ポイント上昇。「悪くなる」「やや悪くなる」と回答した割合は低下したものの、依然、厳しい状態が続く。

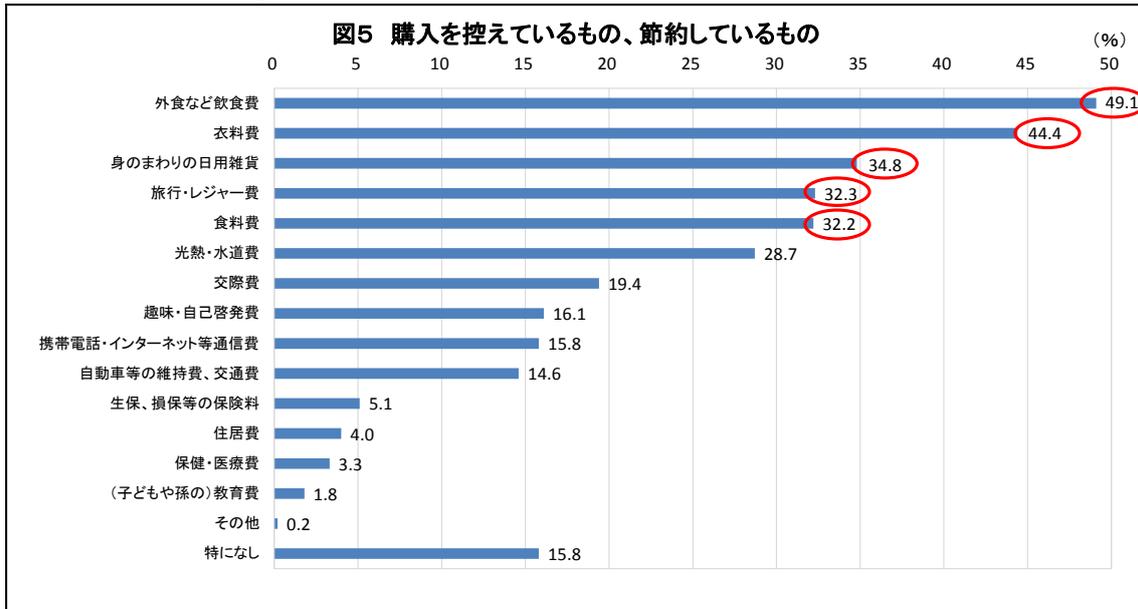


## 2. 特別項目 ～消費税引き上げ後の消費動向について～

### ◆増税後の買い控え、節約対象は5項目で3割超え

「増税後、購入を控えているもの、節約しているもの」(複数回答)についてたずねたところ、「外食費など飲食費」(49.1%)が最も多く、約5割を占めた。続いて、「衣料費」(44.4%)、「身のまわりの日用雑貨」(34.8%)、「旅行・レジャー費」(32.3%)、「食料費」(32.2%)と、5項目で3割を超える結果となった。

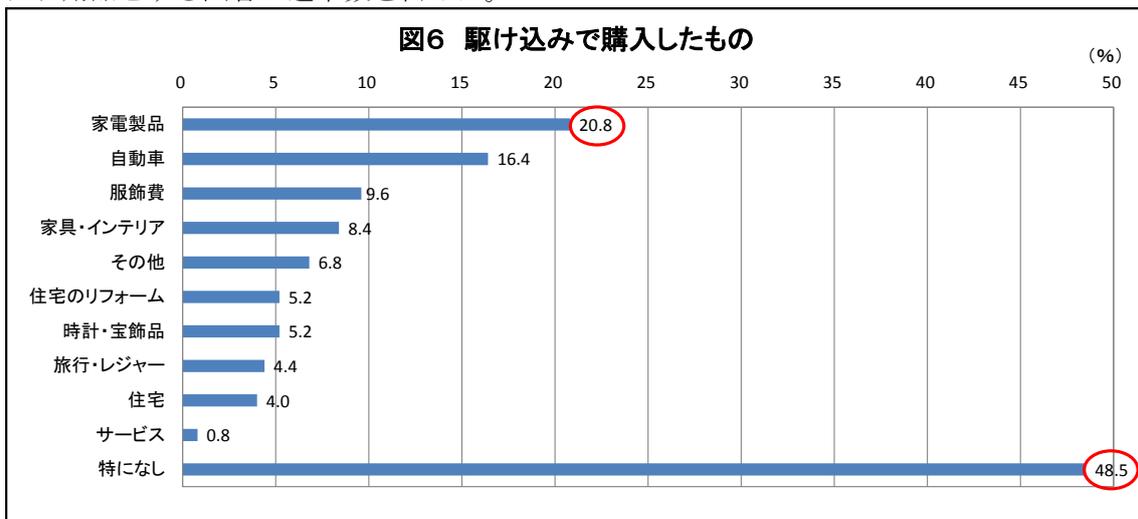
「特になし」とする回答は15.8%と、大半の家庭で増税後に買い控えや節約を行っていることがみてとれる。



### ◆ 駆け込み購入は限定的

「駆け込みで購入したもの」(複数回答)についてたずねたところ、「特になし」とする回答は48.5%となり、駆け込み購入は限定的だった。

一方、購入した品目をみると、「家電製品」(20.8%)が最も多く、「自動車」(16.4%)、「服飾費」(9.6%)、「家具・インテリア」(8.4%)が続いた。「その他」(6.8%)については日用品とする回答が過半数を占めた。



## ◆ 買い控えの解消は7月以降

「買い控えを解消したり購入を検討する時期」(複数回答)についてたずねたところ、全項目で「当面しない」の割合が最も高いものの、「旅行・レジャー」については夏休み時期に合わせて解消していくとの回答がみられた。その他の項目でも、7月以降とする回答が多くみられた。

項目	買い控え解消の時期						
	2014年 4～6月	7～9月	10～12月	2015年 1～3月	4～6月	7月以降	当面しない
住宅	0.8	3.1	1.5	-	-	2.3	92.4
住宅のリフォーム	2.5	9.0	1.4	1.4	-	3.4	82.8
自動車	3.6	7.3	2.0	4.0	2.6	8.6	72.8
家具・インテリア	1.8	4.3	5.0	5.0	0.7	2.2	81.3
家電製品	5.2	11.9	11.3	6.3	3.1	3.8	60.6
時計・宝飾品	1.7	3.0	3.7	1.5	0.7	2.2	87.3
服飾品	7.7	12.3	6.2	3.1	0.8	2.3	70.0
旅行・レジャー	4.3	24.5	11.9	6.3	-	7.0	48.3
サービス	5.4	2.0	1.0	-	-	2.0	90.2

以上